別記様式－2-1

**ＩＣＴ活用工事計画書（舗装工）**

（工事名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　　会社名：

当該工事の舗装工において、ＩＣＴ施工技術を全ての施工プロセスの段階で活用する場合、「□全て活用する」のチェック欄に「■」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 施工プロセスの段階 | | 適用技術・機種 |
| □全て活用する | ①３次元起工測量 | | ・地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  ・ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ・その他の３次元計測技術を用いた起工測量  ※採用する具体な技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※発注者が３次元測量成果を提供する場合も活用に含む。 |
| ②３次元設計データの作成 | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成  ※発注者が３次元設計データを提供する場合も活用に含む。 |
| ③ＩＣＴ建設機械  による施工 | 【作業工種】  ・路盤工 | ３次元ＭＣ　建設機械  ※採用する機種及び施工範囲については受注後の協議により決定する。 |
| ④３次元出来形管理等の施工管理 | | ・地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ・ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理  ・ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  ・地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理  ・その他の３次元計測技術を用いた出来形管理  ※採用する具体な技術は受注後の協議により決定する。  ※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。  ※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。 |
| ⑤３次元データの納品 | |  |

注1)ICT活用工事及びICT活用施工の詳細については、特記仕様書によるものとする。

注2)「□全て活用する」のチェック欄に「■」と記載された場合のみ加点対象とする。

注3)「ICTの活用」において加点評価された場合、「技術提案」との重複評価はしない。ただし、本表掲載のICTを応用（別の技術を組み合わせて効果を高める、

又は別の効果を発現する等を含む。）した技術提案は、その応用部分（付加的な内容）については「技術提案」の評価対象とする。

注4)特記仕様書により指定した技術については、評価項目・技術提案ともに加点・評価はしない。

注5)MCとは、マシンコントロール機能をいう。